

今日のトピック 最近の指標から見る豪州経済(2015年3月)

底堅い消費が設備投資の弱さをカバーする展開

ポイント1 消費は改善の見込み

住宅市場は堅調さを維持

- 2014年10-12月期の実質GDP成長率(季節調整済)は、前期比+0.5%と前期の+0.4%から上昇しました。全体として力強さは欠くものの、鉱業関連などの設備投資の弱さを消費と純輸出がカバーし、底堅い景気が持続しています。
- このところ鈍化している小売売上高は、先行性のある消費者信頼感指数が上昇傾向にあることから、今後改善が見込まれます。
- 住宅市場は、緩和的な金融環境の中で住宅ローン件数が増加していることから、今後も堅調に推移する見込みです。

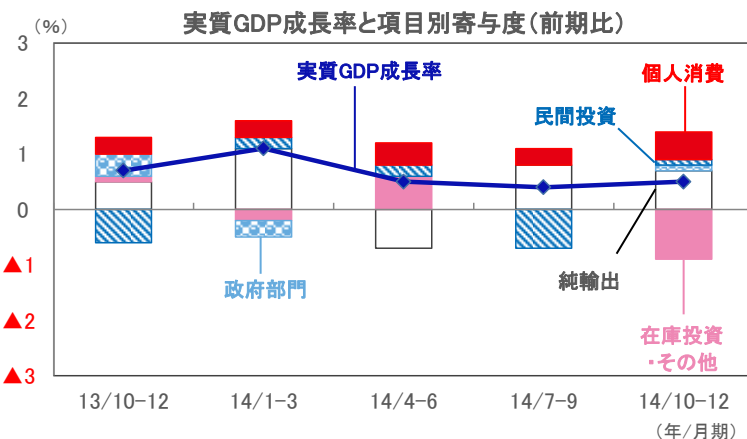
ポイント2 物価上昇率は低下基調

追加利下げ観測が強まる

- 賃金上昇率の低下や原油・資源価格の下落などから、物価上昇率は低下基調にあります。
- 豪州準備銀行(RBA)は、3月3日の金融政策決定会合で政策金利を据え置きました。物価上昇率が下振れていることなどから、追加利下げの可能性を示唆しました。

今後の展開 緩和的な金融環境のもと、消費と純輸出が支える底堅い景気が持続

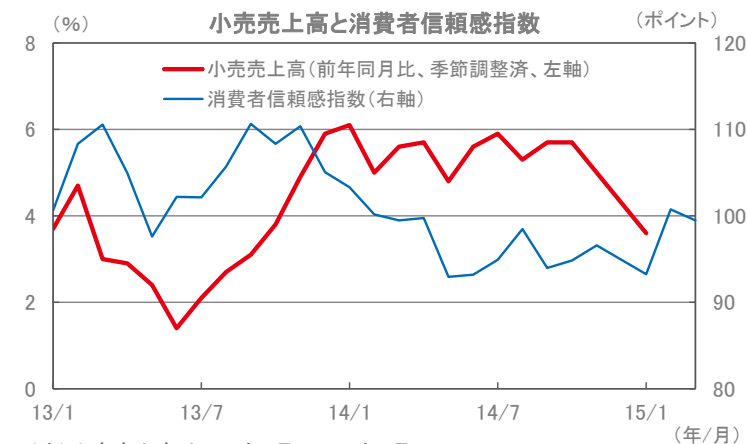
- 消費は、住宅価格の上昇やガソリン価格の低下による購買力の向上により底堅さを維持すると見られます。設備投資の弱さを消費と純輸出がカバーする展開が続く見込みです。
- 物価の下振れなどにより追加利下げが見込まれますが、景気が底堅さを維持することから、利下げは小幅にとどまると考えられます。



(注) データ期間は2013年10-12月期~2014年10-12月期。

政府部門は消費と投資の合計。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) 小売売上高は2013年1月~2015年1月。

消費者信頼感指数は2013年1月~2015年3月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも チェック!

2015年03月03日 オーストラリア、政策金利を据え置き
2015年02月25日 最近の指標から見る豪州経済(2015年2月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。